

男性にとつての男女共同参画
 ～2種類のギャップ～
 問合せ先 統合政策課政策推進係 ☎22212
 編集協力 男女共同参画社会の実現を目指す市民懇話会



「男性にとつての」って

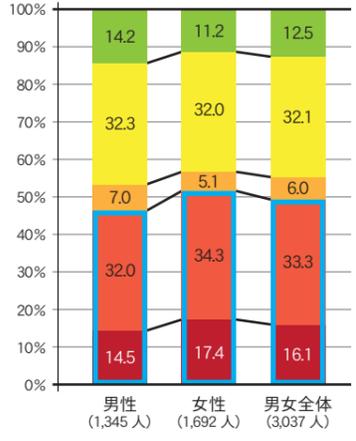
どういうこと?

男女共同参画社会の実現は、男性にとつても生きがいのある社会を目指す上で重要な課題です。性別による役割分担意識の解消や、長時間労働の抑制などの働き方の見直しによって、男性にとつても地域や家庭へ参画しやすい環境づくりが求められます。ここでは国や県が発表したデータをもとに、男性にとつての男女共同参画について、2種類のギャップに焦点をあてて紹介します。

性別による役割分担意識

内閣府の調査によると、平成26年度「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」といった考え方について、「反対」と回答した男性の割合は46・5%、女性は51・7%、男女全体で49・4%であることが分かりました。昭和54年度における同様の調査では、男女全体で20・4%であったため、この約30年の間に、「男は仕事、女は家庭」という役割意識、いわゆるジェンダーに囚われない人が大幅に増えていることが伺えます。

「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」といった考え方について



「女性の活躍推進に関する世論調査」(内閣府) 平成26年度

・男性と育児
 男性の家事、育児についても、「今後の仕事と家庭の両立支援に関する調査結果」(厚生労働省)によると、平成20年度、育児休業制度の利用意向がある男性は31・3%にのぼる一方、「雇用均等基本調査」(厚生労働省)によると、男性の育児休業取得率は平成25年度時点で2・0%にとどまっています。



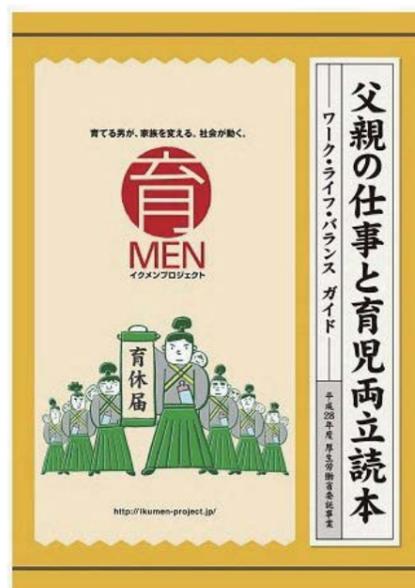
理想と現実のギャップ

・男性が育児を「とりたいたい」のに「とれない」のはなぜ?
 「仕事と家庭の両立に関する実態把握のための調査」(厚生労働省)によると、平成27年度、男性社員が育児休業を取得しなかった理由として、

26・6%の人が「職場が育児休業制度を取得しづらい雰囲気だったから」、21・2%の人が「残業が多い等、業務が繁忙であったため」と回答しています。



- ☆周囲の理解を得るには?
- 先輩パパに学ぶ会社や職場で理解を得るための心得七箇条(厚生労働省『父親の仕事と育児両立読本』より)
 - 育児休業をとるために
 - 事前準備を整え、早め上司に相談すべし
 - 職場で「育児休業取得」を周知し、理解と協力を求めるべし
 - 人事部などに相談すべし
 - 周囲の支援は、普段の仕事ぶり次第と心得るべし
 - 育児休業取得が決まったら
 - 業務を棚卸しし可視化すべし
 - 社内の関係部署に周知すべし
 - 顧客や取引先に連絡・周知すべし



詳しくは…
 父親の仕事と育児両立読本

・男性の家事・育児への参画

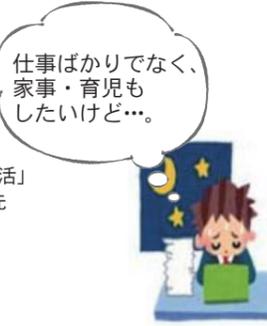
「社会生活基本調査」(総務省)によると、平成23年度、6歳未満児のいる夫婦の、夫の1日当たりの家事時間は1時間7分(うち育児時間39分)であることがわかりました。しかしながら、「労働力調査」(総務省)によると、平成25年度、週労働時間60時間以上の男性就業者の割合は、30代が最も高く17・6%、次いで40代が17・4%となっており、

また、県の調査によると、平成27年度、「仕事」と「家庭生活」をともに優先したいと考える割合が最も高くなっています

「仕事」と「家庭生活」をともに優先したいと考える割合が最も高くなっています

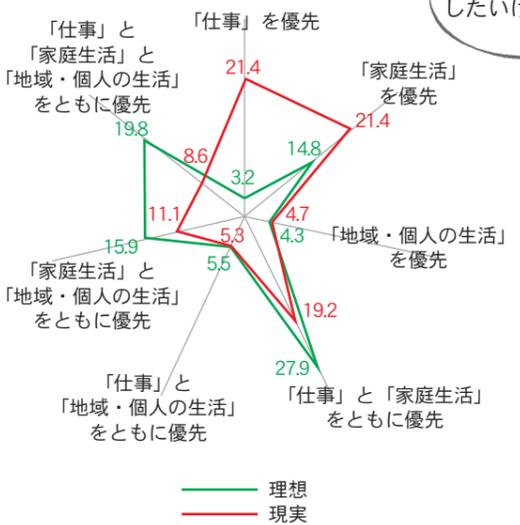
理想と現実のギャップ

・考えてみよう! 「かぞく」の「かたち」
 理想と現実のギャップに、悩む男性も少なくないのではないのでしょうか? しかし、「男性にとつての男女共同参画に関する意識調査」(内閣府)によると、平成24年度、



仕事ばかりでなく、家事・育児もしたいけど…

生活の優先度について「理想」と「現実」



「男女共同参画に関する県民意識調査」(静岡県) 平成27年度

夫婦が本音で話せる魔法のシート

〇〇家 作戦会議

最近夫婦で会話していますか?
 自分の気持ちを上手に相手に伝えられず、モヤモヤしていませんか?
 このシートを使うとあら不思議、すんなり話ができ2人の仲も深まります。
 さあ、楽しく真剣に、これからの2人のこと・家族のことを話してみましよう。

詳しくは…

〇〇家作戦会議

男女のギャップ

☆夫婦で話してみよう!
 ○〇家作戦会議
 日々の家事や育児の項目を洗い出し、どのようにシェアし、お互いに支えあうのがよいか? このシートを活用して、楽しく真剣に、夫婦の「今」と「これから」を話し合ってみませんか?

実際にやってみて夫婦の感想
 ・現時点では、家事の分担もバランスよくできていて、お互いに不満もなく生活できていることがわかってよかったです。また、将来子どもができたときのことを考えるよいきっかけになりました。(20代夫婦)



☆「知らない人」なら話せる? 男性電話相談
 知っている人にはなかなか弱みを見せられない…。そんな方は、「男性電話相談」を利用してみませんか。生き方、家庭の問題、仕事や健康の悩みなどを男性相談員に電話で相談することができます。
 日時 毎月第1・第3土曜日 13時~17時
 ☎054-272-7880
 主催 県くらし・環境部男女共同参画課
 ・最後に…

あなたも「男性にとつての男女共同参画」について考えてみませんか? 理想と現実とのギャップについて誰かに相談したり、パートナーと考えることで、もしかすると、今よりちょっと「生きやすくなるかも」かもしれません。